

認知症サポーター ステップアップ事業



認知症を考える会
あいつの種

団体概要	
団体名	認知症を考える会 あいづの種
設立年月	2016年4月
代表	遠藤 祐子
会員	個人会員20名(介護福祉士、作業療法士、看護師、介護支援専門員など)
所在地	会津若松市山鹿町4-3



趣旨

認知症が世間に周知されるようになり、多くの人々が関心を持つようになりました。認知症は加齢による体の変化であり、いわゆる老化現象です。他人事ではなく、自分事として正しく理解することが大切だと考えます。そして、認知症になっても住み慣れた場所で、安心して暮らせる街づくりに多くの人々が関わっていることが大切だと考えます。

目的

- 認知症になっても、年をとっても、持てる力を十分に活かしながら、生きがいをもって暮らせるあいつを創っていくことを目的とする

主な事業

- 認知症に関する情報の収集や提供に関すること
- 会員相互および介護サービス事業所、地域の方々との連携推進に関すること
- 介護サービスの質の向上に関すること
- その他の必要な事業

認知症ステップアップ講座



認知症カフェ



2018事業内容

小澤竹俊先生講演会



【開催日】平成30年10月3日（水）10:00～12:00

【演題】「住み慣れた地域で人生最期まで過ごすために」

【講師】めぐみ在宅クリニック 小澤竹俊 先生

【会場】会津若松市文化センター 文化ホール

【参加者数】200名

課題に対する認識

認知症サポーター養成講座を修了しても・・・

●地域で暮らす認知症の人や家族がどのような支援を必要としているのかがわからないため、「何をしてよいのかわからない」状態になっている

事業内容

- 認知症ステップアップ講座の開設
- 認知症カフェにおける実践活動支援
- 認知症講演会の開催
- 認知症サポーターがボランティアスタッフとして活躍している仙台市「土曜の音楽カフェ」の視察研修



スケジュール

2019年6月～2010年1
月までの第2土曜日

- 認知症ステップ
アップ座開催

2019年6月～2010年1
月までの第2土曜日

- 認知症カフェ
「たねカフェ七
日町」における
実践活動

9月7日(土)

- 仙台市「土曜
の音楽カフェ」
視察研修

10月17日(木)

- 認知症講演
- 会津若松市文
化センター



役割分担

提案者

- ステップアップ講座の開催
- 講演会の開催
- カフェ視察研修の実施
- カフェでの実践の機会提供
- 事業会計管理
- 事業成果のまとめと報告

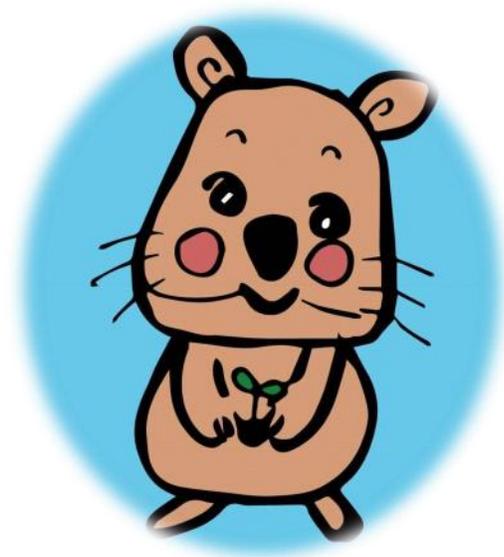
担当課

- 事業の周知広報
- ステップアップ講座への参加募集（サポーターへの周知）
- 関連団体との連絡調整（会津若松市キャラバンメイト連絡会等）
- 事業運営への助言

事業効果

- 認知症を正しく理解して地域に貢献したいというサポーターと認知症の専門職が、市を介してつながることができる
- 認知症を正しく理解したサポーターを活用して(身近な人に正しい認知症の知識を伝えることで)地域に存在する認知症に対する偏見の払しょくに貢献することができる
- 認知症になっても安心して暮らせる街づくりに対して、広く一般の人々に関心を持ってもらうことができる

ご清聴ありがとうございました



あいづの種イメージキャラクター
「たねちゃん」